虻田中学校校舎移転に係る地域協議会会議録

会議名称	令和６年度　第２回洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会	
開催日時	令和６年７月２日（火）　１８：００～	
開催場所	洞爺湖町役場　防災研修ホール	
出席者	洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会委員　　１３名	
	事務局(担当部署)	教育委員会教育推進課
議題	（報告事項） （１）児童生徒・保護者向けアンケートの結果について （２）虻田中学校教職員による虻田小学校校舎視察の結果について （協議事項） （１）ソフト面・ハード面の内容について （その他）	

会　議　の　概　要

□開会
□会長あいさつ
□議事

（協議事項）
（１）ソフト面・ハード面の内容について

≪協議内容≫
委　員
　回答状況をみて、あまりの低さに関心がないよりはマチコミを見てない人がいるかもしれないと感じた。
委　員
　マチコミの開封状況は、発信した学校が開封の確認をできるため、関心の低さが表れていたとは言える。もう一つ見方をすれば、なによりも直ぐに移転させてほしいとの認識があるという部分も読み取れるのではないか。

委　員
　小学生と中学生が自然と交流できるようなハード面であるといいのではないか。
委　員
　新しく建っている義務教育学校や小中連携の整った学校は図書室等での交流がさかんである。そのような形でハード面は工夫できるのではないか

委　員

いずれは小中一貫校を目指すのであれば、あくまで小中一貫校としてのハード面を作るべきではないか。

委　員

小中一貫校は時間をかけて考えながら目指すべき。その上で有珠山の山頂噴火のリスクを考えると早急に中学校は小学校に移すべきではないか。

事務局

有珠山の噴火に関しては、前回のように麓からの噴火ではなく山頂噴火を想定するとより危険であると言える。だが、最初から小中一貫校を目指すとなると、時間がかかる。そういった事情からまずは校舎移転を進めて行きたい。その後できる限り早い段階で小中一貫教育を実現していきたい。

委　員

ハード面の基準は小中一貫校の基準に合わせるべきでは。

委　員

人口動態の推移も加味するべき。

委　員

現状で冷房の完備は各学校でも進んでいるのか。

事務局

冷房の完備に関しては、虻田中学校を除き、来年度設置に向け、今年度実施設計を発注している。

委　員

部活動の地域移行はどうなるのか。

事務局

近日中に検討会を立ち上げて打ち合わせをする予定。令和８年の４月から移行するという期限は決まっているため、豊浦町や壮瞥町と最終的なところも見据えて進めて行きたい。しかし、文部科学省等から学習に関する素案が出てくるまでまだわからない部分が多い現状もあるため、こうなると言い切るのは難しい。

委　員

虻田中学校のグランドや体育館は校舎移転に伴って整地にするのか。もしくは残すのか。

事務局

これから検討していく予定。

（その他）

事務局

次回の３回目の会議を７月下旬に３回目を開催する予定。事前に本協議会における意見やソフト面及びハード面を報告書としてまとめて配布するので確認いただきたい。今後の動向はホームページ等でも公表していこうと考えている。また、ある程度の方向性が定まり次第、小学校や中学校の保護者向けの説明会を開催予定。

委　員

令和６年度第２回洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会を終了します。

□閉会